ひたちおおた

てくてくウォーク㉜

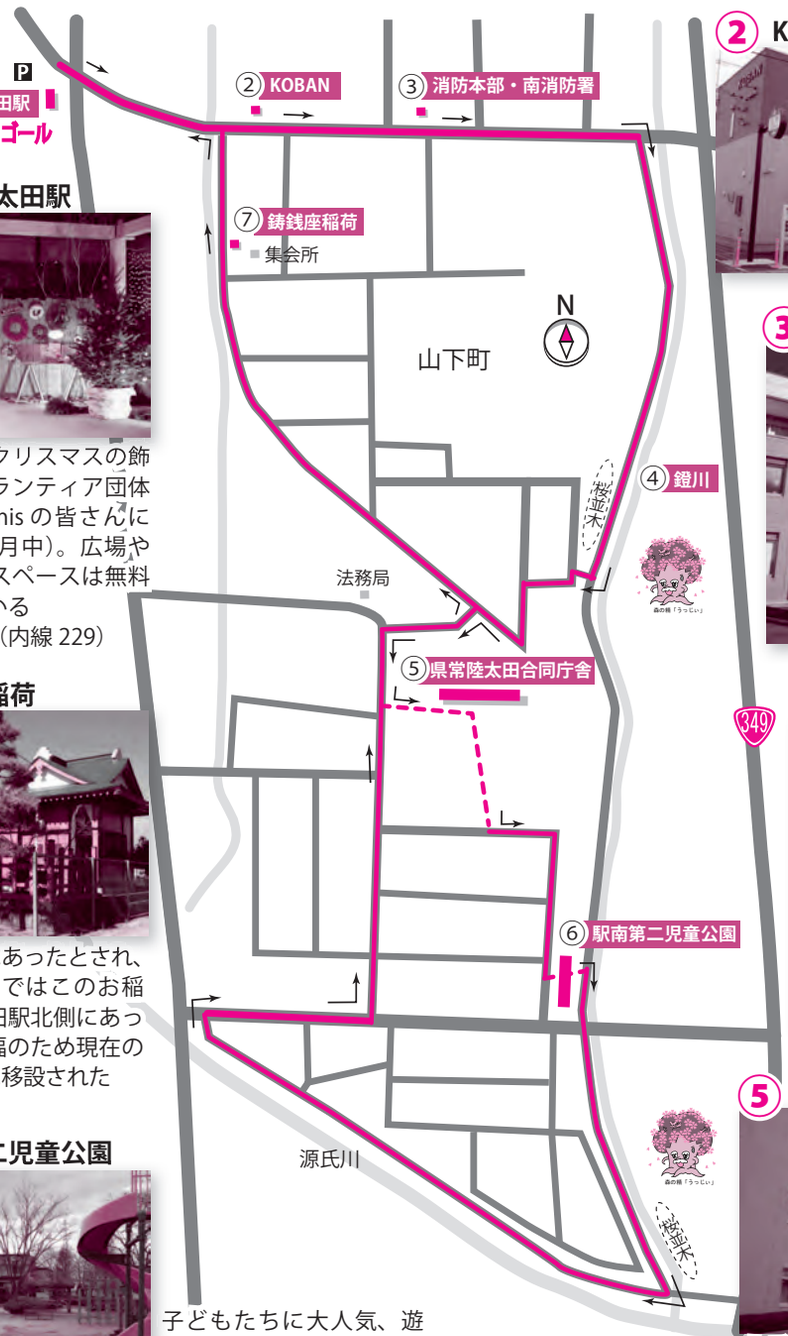
市内の自然・史跡や特産品なども交えて見所をお伝えしながら、地元の身近なウォーキングコースを紹介していきます。地元の意外と知られていない名所や素晴らしい自然、見所を巡りながら、皆さんもぜひ歩いてみませんか。

問 文化課エコミュージアム推進室（内線 541）

山下町ハイキングコース

距離：約4km　所要時間：1時間30分

今回は、鯨ケ丘の南に位置し、JR 常陸太田駅や公共機関の建物が多い、本市の玄関口とも言える山下町を歩きます。まずは駅から消防署を目指し歩きはじめます。JR 常陸太田駅は平成 23 年に建て替えられリニューアルし、毎年、「汁（しる） ONE（わん） カップ」や「駅夏物語」のイベント会場としても多くの市民に親しまれています。また、江戸時代には現在の駅北側付近に大規模な鋳銭座（いせんざ）がありました。鋳銭座とは貨幣の鋳造（ちゅうぞう）を行う場所のことで、2 ～ 3 千人の方が働いていたそうです。今もその名残りとして鋳銭座稲荷があり、道路拡幅に伴い現在の場所に移設され地域の方の手で大切に祭られています。鐙（あぶみ）川沿いの歩道には桜並木があり、平坦で散歩をゆったりと楽しめるコースです。



① JR 常陸太田駅

駅舎内にあるクリスマスの飾り付けは、ボランティア団体チェルシー amis の皆さんによるもの（12 月中）。広場やコミュニティスペースは無料で貸し出している

問都市計画課（内線 229）

② KOBAN

駅前に新しくできた交番。「困りごとがありましたらいつでもお気軽にご相談ください」とのこと

③ 消防本部・南消防署

市民の安全を守る消防署。防災関係の出前講座などの申し込みも受け付けている。2 階事務室に声をかければ、3 階展示室を見ることができる

④ 鐙川

たこ公園と隣接。八幡太郎義家が馬の鐙を洗ったとされることから“鐙川”の名前が付いている

⑤ 県常陸太田合同庁舎

県税事務所や県北県民センター、常陸太田工事事務所が入っていて、どなたでも立ち寄れる。1 階のエントランスには売店があり、お弁当なども買うことができる

⑦ 鋳銭座稲荷

鋳銭座の一角にあったとされ、昭和 50 年頃まではこのお稲荷様も常陸太田駅北側にあったが、道路拡幅のため現在の山下集会所隣に移設された

⑥ 駅南第二児童公園

子どもたちに大人気、遊具の形状から「たこ公園」の愛称で親しまれている